

初期消火の3原則

1人で消せるだろうと考えず、隣近所に火事を知らせ、すみやかに119番通報を。初期消火で火事を消せなかったら、すばやく避難しましょう。

1 早く知らせる

- 「火事だ」と大声を出し、隣近所に援助を求める。声が出なければやかんなどを叩き、異変を知らせる。
- 小さな火でも119番に通報する。当事者は消火に当たり、近くの人に通報を頼む。

2 早く消火する

- 出火から3分以内が消火できる限度。
- 水や消火器だけで消そうと思わず、座布団で火を叩く、毛布で覆うなど手近のものを活用する。

火元別初期消火のコツ

油なべ

あわてて水をかけるのは厳禁。消火器がなければ濡らした大きめのタオルやシーツを手前からかけ、空気を遮断して消火を。

石油ストーブ

真上から一気に水をかけて消火(斜めにかけてと石油が飛び散って危険)。石油が流れてひろがっていくようなら毛布などで覆い、その上から水をかけて消火を。

衣類

着衣に火がついたら転げまわって消すの方法。髪の毛の場合なら衣類(繊維は避ける)やタオルなどを頭からかぶる。

浴室

浴室からの出火に気づいても、いきなり戸を開けるのは禁物。空気が室内に供給されて火勢が強まる危険がある。ガスの元栓を閉め、徐々に戸を開けて一気に消火を。

電気製品

いきなり水をかけると感電の危険が。まずコードをコンセントから抜いて(できればブレーカーも切る)消火を。

カーテン・ふすま

カーテンやふすまなどの立ち上がり面に火が燃え広がったら、もう余裕はない。引きちぎり蹴り倒して火元を天井から遠ざけ、その上で消火を。

3 早く逃げる

- 天井に火が燃え移った場合は、すみやかに避難する。
- 避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを開けて空気を断つ。



消火器の使い方

粉末・強化液消火器の場合



消火器のかまえ方

- 風上に回り風上から消す。火災にはまともに正面から立ち向かわないように。
- やや腰を落して姿勢をなるべく低く。熱や煙を避けるように構える。
- 燃え上がる炎や煙にまどわされずに燃えているものにノズルを向け、火の根元を掃くように左右に振る。



火災予防が一番!!

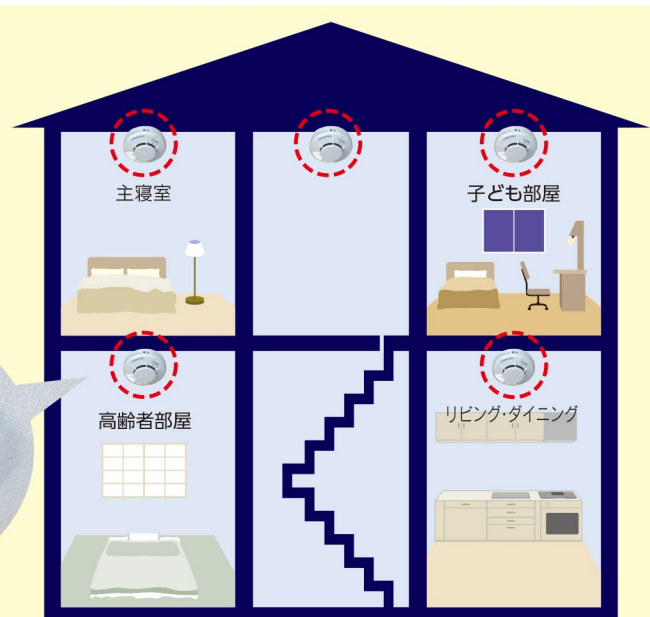
火災警報器の設置義務化

消防法の改正により、住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

火災による死傷者を無くすためにも設置しましょう。

火災警報器の設置場所

- 寝室…すべての寝室(子ども部屋や高齢者の部屋など就寝に使われている場合は対象となります)への設置が必要です。
- 階段…寝室のある部屋の階段の天井などへの設置が必要です。

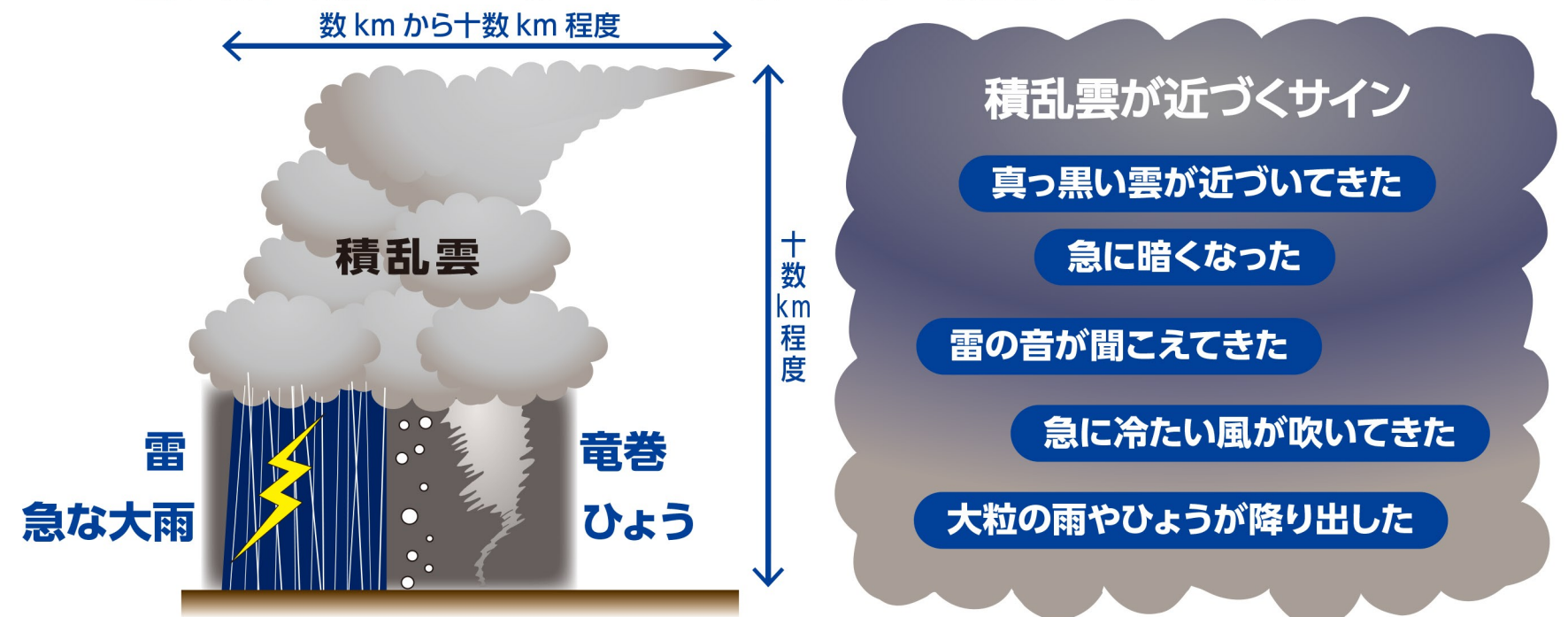


住宅内取付位置図

注意：住宅用火災警報器は電池式のもの主流です。電池の寿命は5年から10年と言われているので、早めの交換をお願いします。

竜巻対策

発達した積乱雲からは、竜巻、ダウンバースト、ガストフロントといった、激しい突風や雷をもたらす現象が発生します。竜巻は、積乱雲に伴う強い上昇気流により発生する激しい渦巻きで、多くの場合、漏斗(ろうと)状または柱状の雲を伴います。直径は数十～数百メートルで、数キロメートルに渡って移動し、被害地域は帯状になる特徴があります。



「竜巻」が間近に迫ったら… いろいろな物が猛スピードで飛んできます!

**屋内では**

- 窓から離れる
- 窓やカーテンを閉める
- 丈夫な机やテーブルの下に入るなど、身を小さくして頭を守る
- 家の1階の窓の少ない部屋に移動する

**屋外では**

- 頑丈な建造物の物陰に入って、身を小さくする
- 物置や車庫・プレハブの中には入らない
- シャッターを閉める
- 電柱や太い木には近づかない

竜巻に遭遇した人からは次のような声を聞きます。このような場合には、あなたの身に危険が迫っています。

- 「ゴー」という音がしたのでいつもと違うと感じた。
- 「雲の底から地上に伸びる漏斗(ろうと)状の雲を見た。」
- 「飛散物が筒状に舞い上がるのを見た。」
- 「気圧の変化で耳に異常を感じた。」

竜巻注意情報(気象庁)

<http://www.jma.go.jp/jp/tatsumaki/>

雷対策

「雷」から身を守るには… 遠くで音がしたらずでに危険な状態です!

雷ナウキャスト(気象庁) <http://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>

- グラウンドやゴルフ場、海の上などの開けた場所や、山頂などの高いところは危険!
- 電柱、鉄塔などの高い物体には近づかないように!
- 高い木の近くは危険! 2m以上は離れてください!
- 姿勢は低く、持ち物は体より高くしないように!
- 建物や車の中は比較的 안전한空間。
- 木造建築物の中では、電気機器や壁から1m以上離れば更に安全。
- 雷の活動が止み、20分以上経過してから安全な場所へ移動しましょう。



その他の災害編

その他の災害編